

さまざまな業界で信頼されるパートナー



弘栄貿易株式会社
代表取締役社長
槌橋貴彦氏

化学品の専門商社である弘栄貿易は、さまざまな業種の企業にとって頼りになるパートナーだ。1949年に設立されたこの日本企業は、自動車、ゴム、エレクトロニクス産業、農業、建設などの分野の主要な顧客ポートフォリオを誇っている。

「当社のビジネスモデルは輸出入の両方です」と、弘栄貿易の槌橋貴彦社長は言う。

化学品のスペシャリストとして、総合的なサービスを提供する弘栄貿易

「主に海外企業から化学品を輸入し、その代理店として国内顧客に販売しています。同時に国産品の取引も行っており、売上の9割が国内向け、1割が輸出向けです」。

「当社の強みは、サプライチェーンの混乱に対応できることです。顧客に代替化学品を提供することでリスクをヘッジし、永続的な信頼関係を築いています」。

また、複数の利害関係者が関与する長期的な製品開発プロセスを運営する会社が必要な場合にも、顧客は弘栄貿易を利用する。「その代表的な例が、サツマイモ農場で畑を覆う生分解性シートとの共同開発です。「焼酎を作るためにサツマイモからジュースを抽出した後に残る残渣から作られています」。

「生分解性で土に還るので、100%循環型経済です。化学会社、焼酎メーカー、農協、農家の橋渡し役として、20年ほど前からこのプロジェクトに取り組んでいます」。

長期的なパートナーシップを構築する弘栄貿易のノウハウは、自動車メーカーの電気自動車（EV）移行に同行する際にも鍵となるだろう。業界におけるノウハウに加え、同社はエレクトロニクス分野での経験も活用しようとしている。特に、子会社であるジッパーチュービングジャパンが半導体業界で持つ専門知識を活用することを視野に入れている。

弘栄貿易はまた、自動車メーカーのニーズの変化に対応する用意もある。「EVへの移行は長期にわたる可能性が高く、燃料電池車などさまざまな代替案が検討されるでしょう」。

「さまざまな分野での経験を生かし、お客様の意向や提案に耳を傾けていきたい」と槌橋社長は説明する。

近年、アジア各地に海外拠点網を構築している弘栄貿易は、国際的なプレゼンス強化を目指す企業でもある。「タイ、インドネシア、インドなど、人口が増加している地域に注目しています。「ベトナムも潜在的な成長市場と見ています」。

 Kohyei Trading Co., Ltd.
kohyei.com

日本ジッパーチュービング：信頼性の高いEMI対策、ケーブル結束、発熱対策で最先端技術の創造を支える



日本ジッパーチュービング株式会社
代表取締役社長
竹内史朗氏

弘栄貿易の子会社であるジッパーチュービングジャパンは、EMI対策、電線・ケーブル結束、熱収縮、熱シールドなど、さまざまな業界の企業に製品を供給しているメーカーだ。

特に半導体製造分野の顧客向けに高品質な製品を製造している。

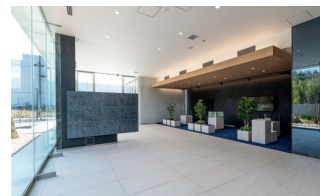
半導体メーカーを専門にサポート



空撮風景

昨年創業50周年を迎えたジッパーチュービング・ジャパンは、その節目を記念して、神戸に最新鋭の生産拠点を開設した。「既存の2つの工場の3倍の広さです」と竹内史朗社長は説明する。フロアの広さで言えば、以前の2倍です」と竹内史朗社長は説明する。

「創業以来の製品もあれば、ここ5年、10年で開発した製品もあります。現在は、既存の市場や新しい市場に対応するため、新製品の開発に取り組んでいます。そのために新工場を設立しました」



エントランスホール

ジッパーチュービング・ジャパンは、革新的な創造を目指す一環として、親会社と提携し、両社のノウハウを生かした製品を開発していきます。

「弘栄貿易には、特に自動車メーカーとの関係において強みがあります。一方、私たちジッパーチュービング・ジャパンは製造業を得意としており、半導体製造装置メーカーとの強いコネクションを持っています」と竹内氏は説明する。



製造現場

「電気自動車（EV）へのシフトに合わせ、EV市場に特化した新製品を作ること、両者の強みを生かすことを目指しています。3年以内に実現したいと考えており、現在、研究開発段階にある。ジッパーチュービング・ジャパンの半導体の専門知識と、弘栄貿易の自動車の経験を組み合わせたいのです。」

 ZIPPERTUBING (JAPAN), LTD.
ztj.co.jp